



水球

(東京辰巳国際水泳場)
▽女子1次リーグB組

ROC	20	7	5
(E)	26	1	1
	4	4	3
	16		
日			
(O)			
本			

with
Kanagawa

夢の時間は道半ばにし
てついでた。水球女子は
1次リーグ全敗。だが、
G K三浦に未練の色はな
い。「ふがいない戦いも
あったけど、一生懸命全
てを出し切った」。開催

女子 初舞台は1次し全敗

三浦 未練なく夢託す

国枠で巡ってきた初の五輪は、第一歩だった。かつての仲間から出番が訪れる。最後尾から懸命に声を張った。劣勢の第3ピリオドから真の数々。「過去の先輩たちが頑張ってくれたから今がある」。たとえ勝利は遠くても、前を向かなければならない。

最大の歯車。最大6点のハイランドも最終ピリオドで一時は2点にまで迫った。肩を落とす後輩たち一人一人を出迎え、タッチを交わした。「今回の戦いに思っこともあったと思う。未来につなげてほしい」。悲願の1勝はパリへと託す。

屈辱の歴史を知っている。ロンドン大会では出場権が懸かるアジア選手権で敗退後、勝機が薄いとみられて世界最終予選への派遣が見送られた。前回りオアシャネイロ大会も同予選で敗退。「いったい」。今後は白鵬女子ろいろなことがあった。高での指導に専念する予定。この10年の歩みを定。「自分の経験したことを伝え、今度は生徒2連敗で迎えたハンガリーにこの舞台に立ってほしい。夢は受け継がれる。

「多くのことを学んだし気付かされた。私の人生にとって貴重な時間だ」。夢は受け継がれる。 (須藤 望夢)